

令和7年度 森林環境譲与税の取組結果（えりも町）

■ 森林環境譲与税の取組方針

- ・えりも町では、私有林の森林整備を推進するため、森林所有者や林業事業体の負担軽減を目的とした補助事業の対象とならない経費について負担することに一つは取り組んでいます。
- ・近年の大雨などで林道の破損が拡大しつつあるので、その維持管理経費に一部活用しています。
- ・公共施設等の木製品等の修繕や建替えに積極的に道産材を活用しています。

■ 取組一覧

事業名	内容	金額（千円）
① 灯台公園木製ベンチ修繕	灯台公園の木製ベンチの4基の劣化がみられることから、道産材を活用し、同様の形状のベンチに修繕する。	440千円
② 民有林整備補助対象外事業補助金	林業事業体と森林所有者の負担軽減を目的とした森林整備の推進のための町単独補助。（民有林の鹿柵修繕及び撤去・作業道修繕及び除雪・労働安全装具等購入費）	3,443千円
③ 林道維持管理費	全4路線中利用頻度の高い1路線(路面清掃18,728m・枝払い10,255m区間・土砂除去3箇所)での維持管理に活用。	2,668千円
④ 森林地理情報システム等保守管理委託業務	林地台帳整備に係るシステム内のデータ更新等に関する業務委託。	3,773千円
⑤ ボランティア団体事業費補助金	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会の賛助金。	7千円
合計		10,331千円

■ 主な取組（抜粋）

概要

当町は人工林が少なく整備不足の森林が多い訳ではないので、補助事業のメニューに無い部分の整備内容を補助することで、今まで以上に森林整備の推進が図られていくものと考えられます。

その外には林道の維持管理、林地台帳整備に係るシステムの更新委託、北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への賛助金へ充当し、木材利用で灯台公園の木製ベンチが劣化しており、現行と同様の木製ベンチの修繕を行います。

写真

